ことわざの 意味 1

やさしい ★☆☆ ・ ことわざの 意味を えらぶ

耳
ことわざ

昔の 人の ちえだよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことわざの 意味を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 小さな ものでも、つもれば 大きな ものに なる
㋑ ねうちの 分からない 人に よい 物を あげても むだ
㋒ 見て 楽しむ ものより、役に 立つ ものを 取る
㋓ 急ぐ ときほど、遠回りでも 安全な 方法を とる ほうが よい
㋔ 早起きすると、何か よい ことが ある
㋕ がまんして つづければ、いつか うまく いく
㋖ じょうずな 人でも 失敗する ことが ある

1 さるも 木から 落ちる □
2 急がば 回れ □
3 石の 上にも 三年 □
4 ちりも つもれば 山と なる □
5 ねこに 小判（ばん） □
6 花より だんご □
7 早起きは 三文の 徳 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「ことわざの 意味 2」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

ことわざの 意味 2

ふつう ★★☆ ・ 数や 生き物の ことわざ

場面を
思いうかべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことわざの 意味を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 悪い ことの 上に、さらに 悪い ことが 重なる

㋑ 何回も 聞くより、一度 自分の 目で 見る ほうが よく 分かる

㋒ ふつうの 人でも、三人 集まれば よい 考えが うかぶ

㋓ 一度に 二つの ことを しようと すると、どちらも うまく いかない

㋔ どんなに やさしい 人でも、何度も ひどい ことを されれば おこる

㋕ 子は 親に にる

㋖ 何度 失敗しても、くじけずに 立ち上がる

1 二とを 追う 者は 一とをも 得(え)ず □

2 百聞は 一見に しかず □

3 かえるの 子は かえる □

4 なき面に はち □

5 七転び 八起き □

6 三人 よれば 文殊(じゅ)の ちえ □

7 仏(ほとけ)の 顔も 三度 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「にた 意味・反対の 意味の ことわざ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-55

にた 意味・反対の 意味の ことわざ

ふつう ★★☆ ・ ことわざを 組に する

意味を
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 にた 意味の ことわざを えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ かっぱの 川流れ
㋑ のれんに うでおし
㋒ 弱り目に たたり目
㋓ ぶたに 真じゅ

1 さるも 木から 落ちる □
2 ねこに 小判(ばん) □
3 ぬかに くぎ □
4 なき面に はち □

2 反対の 意味の ことわざを えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 急がば 回れ
㋑ 旅の はじは かきすて
㋒ とびが たかを 生む
㋓ 三度目の 正直

1 善(ぜん)は 急げ □
2 二度 ある ことは 三度 ある □
3 かえるの 子は かえる □
4 立つ 鳥 あとを にごさず □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「ことわざを 使おう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

ことわざを 使おう

むずかしい ★★★ ・ 場面に 合う ことわざを えらぶ

どんな ときに 使うかな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1

つぎの 場面に 合う ことわざに ○を つけよう。

1 毎日 少しずつ ためた お金が、一年で 大きな 金がくに なった。
(ア) ちりも つもれば 山と なる
(イ) 急がば 回れ
(ウ) なき面に はち

2 水泳が とくいな 兄が、プールで おぼれかけた。
(ア) かっぱの 川流れ
(イ) かえるの 子は かえる
(ウ) 花より だんご

3 近道を しようとして 道に まよい、かえって おそく なった。
(ア) 急がば 回れ
(イ) ねこに 小判(ばん)
(ウ) 石の 上にも 三年

4 ころんで けがを した 上に、雨にも ふられた。
(ア) 早起きは 三文の 徳
(イ) なき面に はち
(ウ) 七転び 八起き

5 二回 しっぱいしたが、三回目で やっと 成功した。
(ア) 三度目の 正直
(イ) さるも 木から 落ちる
(ウ) 二度 あることは 三度 ある

6 説明を 何度 聞くより、じっさいに 見たら すぐに 分かった。
(ア) ぬかに くぎ
(イ) かえるの 子は かえる
(ウ) 百聞は 一見に しかず

7 何度 注意しても、弟は まったく 聞き入れない。
(ア) 三人 よれば 文殊(じゅ)の ちえ
(イ) ぬかに くぎ
(ウ) 早起きは 三文の 徳

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳

ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-57

体の 言葉の かんようく

やさしい ★☆☆ ・ 体の 部分を 使った かんようく

体の 言葉が 入るよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

□に 入る 体の 部分を えらんで、記ごうを 書こう。（ ）は 意味だよ。

(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
首	顔	目	耳	足	口	鼻	手

1 □が ない（とても すきだ）
［　　］

2 □を かす（話を 聞いて あげる）
［　　］

3 □が すべる（言っては いけない ことを うっかり 言う）
［　　］

4 □を 焼く（あつかいに こまる）
［　　］

5 □が 出る（用意した お金より 多く かかる）
［　　］

6 □が 高い（とくいに なる）
［　　］

7 □が 広い（知り合いが 多い）
［　　］

8 □を 長くする（今か 今かと 待つ）
［　　］

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「かんようくの 意味」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-58

かんようくの 意味

ふつう ★★☆ ・ かんようくの 意味を えらぶ

言葉どおりの
意味じゃないよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

かんようくの 意味に ○を つけよう。

1 ねこの 手も かりたい
- (ア) ねこと あそびたい
- (イ) とても いそがしい
- (ウ) ねこを かいたい

2 馬が 合う
- (ア) 馬に 乗るのが うまい
- (イ) 気が 合う
- (ウ) かけっこが 速い

3 すずめの なみだ
- (ア) ほんの 少し
- (イ) 小鳥が なく
- (ウ) とても かなしい

4 油を 売る
- (ア) いっしょうけんめい はたらく
- (イ) 店で 油を 売る
- (ウ) むだ話を して なまける

5 さじを 投げる
- (ア) 食事を いそぐ
- (イ) 遠くまで 物を 投げる
- (ウ) 見こみが ないと あきらめる

6 水に 流す
- (ア) せんたくを する
- (イ) 川で あそぶ
- (ウ) 前の ことを なかった ことに する

7 図に 乗る
- (ア) 地図を 見て 出かける
- (イ) ちょうしに 乗って いい気に なる
- (ウ) 乗り物に よう

8 たかを くくる
- (ア) 大した ことは ないと かるく 見る
- (イ) ひもで しっかり むすぶ
- (ウ) 鳥を つかまえる

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「気持ちを 表す かんようく」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳

ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-59

気持ちを 表す かんようく

ふつう ★★☆ ・ 気持ちを 表す かんようく

どんな 気持ちの 場面かな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 つぎの 場面に 合う かんようくに ○を つけよう。

1 みんなに ほめられて、とくいな 気持ちに なった。
(ア) 気が 重い (イ) 鼻が 高い (ウ) 耳が いたい

2 自分の 悪い ところを 言われて、聞くのが つらい。
(ア) 鼻が 高い (イ) 耳が いたい (ウ) むねが おどる

3 明日の 発表の ことを 考えると、気持ちが しずむ。
(ア) 気が 重い (イ) むねが おどる (ウ) 鼻が 高い

4 心配ごとが なくなって、安心した。
(ア) 耳が いたい (イ) むねを なで下ろす (ウ) はらが 立つ

5 弟の いたずらに、がまんが できなくなった。
(ア) むねを なで下ろす (イ) 息を のむ (ウ) はらが 立つ

6 美しい けしきに おどろいて、思わず 声が 出なかった。
(ア) 気が 重い (イ) 息を のむ (ウ) はらが 立つ

7 明日からの 旅行が 楽しみで、わくわくする。
(ア) 耳が いたい (イ) 息を のむ (ウ) むねが おどる

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「かんようくを 使おう」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳 かんようくを 使おう

ことわざ

むずかしい ★★★ ・ 文に 合う かんようくを えらぶ

文の 意味を 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

（　）に 合う かんようくを えらんで、□に 記ごうを 書こう。入れる ときは 文に 合う 形に かえて 読もう（焼く→焼いて）。

㋐ 耳を すます
㋑ 足を 運ぶ
㋒ 鼻に つく
㋓ 目を 丸くする
㋔ 手を 焼く
㋕ 首を かしげる
㋖ 口を そろえる
㋗ 顔が 広い

1 弟の いたずらには、母も（　）いる。□

2 手品を 見て、みんなが（　）。□

3 「おいしい」と、みんなが（　）言った。□

4 何度も 図書館に（　）調べた。□

5 ふしぎな 答えに、先生は（　）。□

6 鳥の 声に（　）。□

7 おじは（　）ので、町の 人を みんな 知って いる。□

8 自まん話ばかりで、話し方が（　）。□

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

こじ成語の 意味 1

やさしい ★☆☆ ・ こじ成語の 意味を えらぶ

耳
ことわざ

昔の 中国の
話から できたよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 こじ成語の 意味を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ にげ場の ない ところで、全力で 取り組む こと
㋑ よけいな つけ足し
㋒ しなくても よい 心配を する こと
㋓ 少しの ちがいは あっても、大きな ちがいは ない
㋔ 前と 後で つじつまが 合わない こと
㋕ 文章を 何度も 考えて 直す こと
㋖ 二人が あらそう 間に、ほかの 人が とくを する

1 矛盾（むじゅん） □
2 蛇足（だそく） □
3 五十歩百歩 □
4 漁夫の利 □
5 推敲（すいこう） □
6 背水の陣（はいすいのじん） □
7 杞憂（きゆう） □

できたら はなまる

つぎまる プリント
ことわざ ・ つぎは 「こじ成語の 意味 2」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

こじ成語の 意味 2

ふつう ★★☆ ・ もとの 話から こじ成語を えらぶ

耳
ことわざ

話の 様子を
思いうかべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 もとに なった 話に 合う こじ成語を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

(ア) 蛇足（だそく）
(イ) 杞憂（きゆう）
(ウ) 五十歩百歩
(エ) 漁夫の利
(オ) 推敲（すいこう）
(カ) 矛盾（むじゅん）

1 「どんな たても つき通す ほこ」と「どんな ほこも ふせぐ たて」を 売る 人が、「その ほこで その たてを ついたら？」と 聞かれて 答えられなかった。 □

2 へびの 絵を 早く かく 競争で、一番に かき終えた 人が、へびに 足を かき足して 負けた。 □

3 しぎ（鳥）と はまぐり（貝）が あらそって いる 間に、通りかかった 漁師（りょうし）が 両方とも つかまえた。 □

4 戦いで 五十歩 にげた 兵士（へいし）が、百歩 にげた 兵士を わらった。 □

5 ある 国の 人が、天が 落ちて こないかと 心配して、ねむれなく なった。 □

6 ある 詩人が、詩の 中の「門を おす」と「門を たたく」の どちらの 言葉が よいか、なやみつづけた。 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「こじ成語を 使おう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳 こじ成語を 使おう

ことわざ

むずかしい ★★★ ・ 場面に 合う こじ成語を えらぶ

どの 言葉が ぴったりかな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 つぎの 場面に 合う こじ成語を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 蛇足（だそく）
㋑ 推敲（すいこう）
㋒ 五十歩百歩
㋓ 背水の陣（はいすいのじん）
㋔ 漁夫の利
㋕ 杞憂（きゆう）
㋖ 矛盾（むじゅん）

1 「宿題は ない」と 言った 兄が、すぐ 後に「宿題で いそがしい」と 言った。□

2 よく まとまった 作文の 最後に、いらない 一文を つけ足して しまった。□

3 ぼくの テストは 六十点、弟は 六十五点。どちらも 大して かわらない。□

4 二人の 兄が おかしを 取り合って いる 間に、妹が 食べて しまった。□

5 作文を 何度も 読み返して、言葉を えらび直した。□

6 遠足の 日に 雨が ふらないかと 心配したが、よく 晴れた。□

7 負ければ おしまいの 決勝戦。もう あとが ないと、チームは 全力で いどんだ。□

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「ことわざ・かんようく・こじ成語 まとめ」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳

ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-64

ことわざ・かんようく・こじ成語 まとめ

むずかしい ★★★ ・ 三つの なかまに 分ける

三つの ちがいは？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

つぎの 言葉は どの なかまかな。□に 記ごうを 書こう。

㋐ ことわざ
㋑ かんようく
㋒ こじ成語

1 さるも 木から 落ちる □

2 顔が 広い □

3 矛盾（むじゅん） □

4 急がば 回れ □

5 耳を かす □

6 蛇足（だそく） □

7 石の 上にも 三年 □

8 漁夫の 利 □



ヒント

ことわざは 教えや ちえ、かんようくは 決まった 言い方、こじ成語は 昔の 中国の 話から できた 言葉だよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは この たんげんは おしまい

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）